

## 平成27年度 第4回 運営推進会議

(報告 赤井田)

11月27日(金)に開催された会議の内容を報告させていただきます。

### ◆毛利代表より

- 2ヶ月に1回開催される運営推進会議の内容は工夫し案を出している。日頃の様子を知って頂くために、近況報告以外に一緒に物を作る等より良く伝えたい。
- 毎月行っているスタッフの勉強会ではご利用者様1人ひとりのことを考える会とし、代表が家族側となり意見を出し合っている。11月の勉強会では、「危険性」と「できること」どちらが大切かについて話し合った。残っているものはたくさんある。変化があり、感動する喜びを大切にしていきたい。

### ◆行政より(角田市地域包括支援センター所長:日下氏)

- 行政側は毎回違うスタッフが入れ替わりで運営推進会議に参加するようにしている。
- 角田市では第6期計画を進めている。国では在宅でできるだけ生活していけるよう健康寿命を延ばすとしているが先日首相が特養を増やすといった発言もあり、どちらの方向を向いて行けば良いかと考えさせられる状況。
- 第6期計画は平成29年4月からの予定だったが角田市の現状から平成28年4月スタートの方が良いと検討中。小規模多機能を増やし、顔なじみのスタッフがいる所でのショート利用ができるよう、早めに事業を進めていきたい。
- 施設入居してしまうと在宅復帰は難しいが、花水木には在宅復帰したいという気持ちがあるケースがいるということで御家族の方々の声を参考にさせて頂きたい。

### ◆花水木より(赤井田・引地)

- 今回は認知症のリスクマネジメント(認知症による事故・トラブルの具体例)から個別ケースの考えられるリスクと対応についてお話をさせて頂きたい。  
介護現場に多い事故といえば転倒が上げられ、認知症の方々も同様。認知症の事故防止には認知症特有の背景にも目を向けなければならない。進行すると平衡感覚に影響をおよぼすこと、筋力が衰えてなくても身体のバランスを崩し転倒する、薬の副作用でふらつき転倒する、神経系への影響で嚥下反射の衰えによる誤嚥事故、見当識の衰えから来る事故等の背景をきちんと整理した上で防止策を講じる必要がある。  
対処療法では「いつ何が起こるか分からない」こと前提とした上でのケアになってしまう。「なぜそれが起こるのか」という原因・背景を頭に入れて事故を完全にゼロにはできないが予測を現場で共有していきたい。  
そのためにはご利用者様1人ひとりを知り日頃の接し方・環境づくりを工夫していきたい。

#### ○個別ケースの現状と対応

- ・食事形態が良くなってきている→誤嚥の危険性が考えられる。水分のむせ込みもあるため形態の工夫をしている。美味しく楽しく食事をして頂くよう、御家族のご協力をお願いしたい。
- ・歩こうとする思い→歩きたいという行動を制限しないようにスタッフが寄り添いたい。歩行が続けられるよう状態を見て散歩等を行い筋力維持していきたい。
- ・病状に伴って突発的に行動がある→背景には「何かしたい・手伝えたい・役に立ちたい」という思いがある。  
突発的に行動することで周囲が見えず転倒の危険性が考えられる。病状による認識に変動があるので分かりやすくその都度状況に合わせた対応をしていきたい。また関心の持って頂けることには、知りたいことを上手く引き出しスタッフが話しにお付き合いできるようスキルアップを目指したい。
- ・家に帰りたという思い→本人の思いを大切にしたい。引き続き御家族と過ごす外泊を続け在宅復帰目指して欲しい。花水木では昔の話をする時が一番輝いているためより引き出したい。
- ・退院してからの変化→大きな変化はないがちょっとした認知面での変化があった。少しづつ以前の生活に戻って頂ける様本人の行動を予測しその都度声を掛けていきたい。  
今回の体調の変化の前ぶれに気づくことが出来なかった。皆さん高齢であるため体力の低下や、ちょっとした体調の変化のサインをきちんと受け止められるよう観察して行かなければならない。

### ◆御家族よりご意見、ご感想

- 今回参加してもっと本人のためを考えて行かなければならないと感じた。病状の変化に気付きもっと良くなるための薬へチャレンジすること等もう一歩先を視野に入れDrに相談して行きたい。
- 最近食事をお手伝いする機会を作り、にこにこする様子や、家族と会話ができることを嬉しく思っている。もっと一緒に過ごす時間を作っていきたい。
- 在宅復帰をすることに不安もある。花水木を退所したのち家族の息抜きのために定期的なショートステイの利用希望したいが現状定期的なショート利用は困難。顔馴染みの環境でデイやショートを利用したいと思っている。
- リスクを気にするのではなく、本人がどうやったら出来るのか、本人にとっての一番は何なのか考えることが大切ではないか。認知症はDrが付けた病名であって、その人の個性として受け止めてほしい。
- 個人的な事も家族の皆さんと話し合える場はどこにもない。これまでの積み上げてきた花水木とご家族の信頼関係の表れだと思います。すばらしい施設です。

次回の運営推進会議の予定です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時:平成28年1月22日(金) 13:30~

グループホーム

# 花水木通信

(有) カナガミケアリンク No.137 平成 27 年 12 月 10 日発行

寒さが一段と厳しくなってきました。

早いもので今年も残すところあとわずか。今年を振り返りますと、四季を楽しみ、地域の皆さんと触れ合い、御家族の方々から多くのご協力を頂き、たくさんの笑顔が溢れた 1 年であったとスタッフ一同嬉しく思っています。来年は今年以上に皆さんの笑顔に触れることが出来るよう、関わりを深めていきたいと思います。

## 宮城教育大学から花水木へ実習

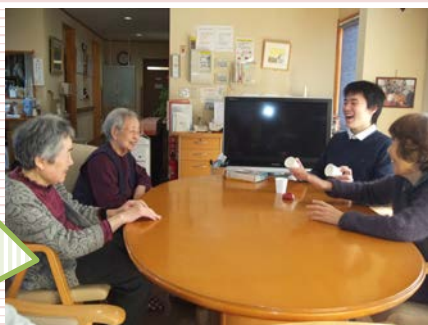
11 月 9 日から 13 日までの 5 日間、教師を目指す学生さんが学習の一環として、花水木で過ごして行きました。皆さんから人生経験をたくさんお話頂き、中でも教育にも共通することがあり実りある 5 日間となったようです。花水木にもフレッシュな学生さんがいることで皆さんの表情も活き活きとした 5 日間となりました。



お話ししながら花水木での日常生活を体験して頂きました。ゆったりとした時を共有でき皆さん満面の笑み♪



皆さんとのお楽しみの時間。学生さんが考えたゲームをしたり、お話が盛り上がりたりと楽しいひと時を過ごすことができました。



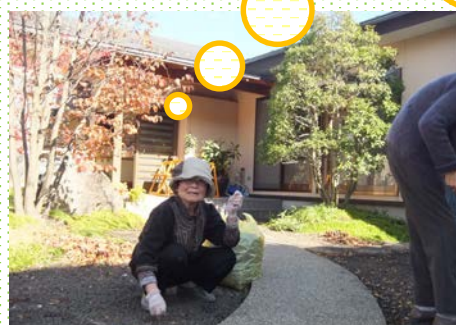


## 日常ひとコマ♪

冬物の衣類のお手入れ。ほつれを直し、衣類整理をして「寒くなるね～」と冬支度始めました。



冬が近づくサイン…庭の紅葉した葉が落ち皆さんで落ち葉かき！「この時期はこれが大変」とこれまでの経験から手際よくかき集めていました



ご近所の方より“蠟梅”を生けて頂きました。美しい花と香りを放つ蠟梅。春の訪れが待ち遠しく思える日となりました。ありがとうございます。



毎日のお楽しみの時間♪  
ことわざカルタや豆つかみ、お手玉棒倒しなど1つの遊びから話題が広がりいつも盛り上がって大笑い。



「ゆっくり一人の時間を楽しみたい」と筆を走らせるSさん。「墨の香りは落ち着くね」と趣味の時間を楽しまれました。







干し柿作り第2弾！  
「寒さと風が大事な  
んだよ～」とたくさん  
の柿をむき教えて下  
さる皆さん。12月に入  
り気温が低く、順調に  
干し柿が出来てます。

柚子の砂糖漬けを  
作り。花水木に柚子  
の香りがいっぱい  
に広がりました。柚  
子湯や酢の物に入  
れ季節の味を楽し  
んでいます。



御家族の皆さんがい  
らっしゃると、安心  
し思わず頬が緩み、  
この笑顔。御家族の  
皆さんへの思いが伝  
わる...そんな瞬間で  
すね。



東京から妹さん夫妻が  
いらっしゃり、久しぶ  
りの姉妹の再会♪

「息子の顔見ると安心  
するな～」といつも息  
子さんが一番に考える  
Yさんの温かい親心。



学生さんと一緒にクリ  
スマスリース作り☆

## 角田中学校の皆さんと一緒に...



学生さん手作りのゲーム  
を楽しんで来ました！

